

2008年5月1日

私立大学図書館協会
東地区部会
加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会
東地区部会長校
帝京大学メディアライブラリーセンター
館長 坂井達朗
【公印省略】

館長会のご案内

昨年度に引き続き、部会総会後の「昼食会を兼ねた館長会」を下記のとおり開催いたします。図書館の運営責任者である館長として、図書館運営のあり方、考え方等について活発な意見交換を行いたいと思います。公務多忙なおり恐縮ですが万障お繰り合わせのうえご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

日時： 2008年6月13日(金) 12:10 ~ 13:30 (移動を含む)

会場： 玉川大学 大学研究室棟 B104

議題： 「大学の自己点検・評価と大学図書館の取り組み」

司会： 坂井 達朗 (帝京大学メディアライブラリーセンター館長)

概要：

大学の認証評価制度が始まり、各大学での『自己点検・評価』が本格化しています。

『自己点検・評価』は教育研究の改善を目的としたもので、図書館も授業改革推進のために、学生の自己学習能力向上支援等、学習・教育支援機能の強化という重要な役割が求められているといわれています。

しかし実際には、業務委託による図書館職員数の減少、人事異動による経験者の流出等により、これら支援業務を含む業務改善自体の実施が一層困難な状況になっています。

このような図書館環境を改善していくため、図書館でも利用者(顧客)満足度を基準にした評価方法の導入が試みられています。

今回の会議においては図書館管理者としての館長の立場と、(多くの場合)教育・研究者としての利用者の立場双方から、各大学での『自己点検・評価』が大学図書館に与える影響、図書館自体の『自己点検・評価』、それらに基づいて改革の事例など、忌憚のない意見交換ができればと考えています。

以上